

「法政二高入学までに身につけておいてほしい国語力」について

2026年2月  
法政大学第二高等学校

★本校への入学を希望する中学生のみなさんへ

人間はことばで考えことばで表現し、ことばを通して人とつながりながら日常を送っています。その意味で「国語の力」をいかに身につけたかは、私たちの生活のゆたかさに関わっていくと同時に、他の教科を学ぶ基盤となっていくと言えましょう。

そこで、みなさんが本校に自信を持って入学するためのひとつの手立てとして、「法政二高入学までに身につけておいてほしい国語力」を具体的な課題として示します。

高校入学後、国語の学習は論理的な思考力・読解力・表現力の養成を目標に展開していきます。文章の質・量が高まっていくため、当然ながら現代文分野・古典分野ともに「何となくフィーリングで読む」ことでは太刀打ちできず、「なぜそう読めるのか」を明らかにしながら学習していくことが重要になります。課題は、そうした「根拠」を明確化して読む出発点として位置づけられるものです。必ず自分自身の手で地道に取り組んで下さい。この1ヶ月半を活用し、自らの国語の学力を振り返りつつ、高校での新たな学習の「構え」を作ってくれることを期待します。

課題：『総合国語へのアプローチ』（浜島書店）に全て取り組むこと

提出：第1回の「現代の国語」の授業に持参すること

※中原ブックランドにて購入してください。

[学習の目安]

1. 単元によっては、まだ中学で学習していないところもあります。その場合は、自分なりに調べて答えを考えましょう。
2. 提出日時は第1回の「現代の国語」の授業時です。課題の記入欄をすべて記入していることが提出の前提条件です。（法政二高では課題の提出期限は厳守です。提出が遅れた者には厳しく反省を求めます。）
3. 授業開始後に行われる「新入生課題確認テスト」では、この課題テキストを範囲として出題します。

以上